

OKI-net(おきねっと)をご存知ですか

置賜地域の主な病院・診療所が、患者さんの医療情報を共有するしくみで、医療機関が変わっても、検査結果などを共有できます。

◎どんな効果があるの？

- ☞ 重複検査や投薬を防止し、また、複数の病院の検査結果を比較できる等患者さんを中心とした効率のよい医療サービスを提供できます。

地域医療連携パス

治療内容、経過を地域の医療機関等で共有し、それぞれの役割分担を図るための診療計画書です。

- ☞ 主にがん、だいたいこつけいぶこっせつ大腿骨頸部骨折、しんきんこうそく脳卒中、心筋梗塞で使われます。



相談窓口

- 通院・入院中の方は、医療機関の主治医、地域医療連携室（医療連携担当者）
- 福祉施設に入所中の方は、福祉施設等の相談担当者
- 在宅の方は、お住まいの市町地域包括支援センターへご相談ください。

お問い合わせ

山形県置賜総合支庁保健福祉環境部保健企画課
（山形県置賜保健所保健企画課）健康企画担当
山形県米沢市金池三丁目1-26 TEL 0238-22-3004

平成26年2月作成

地域医療連携ってなあに



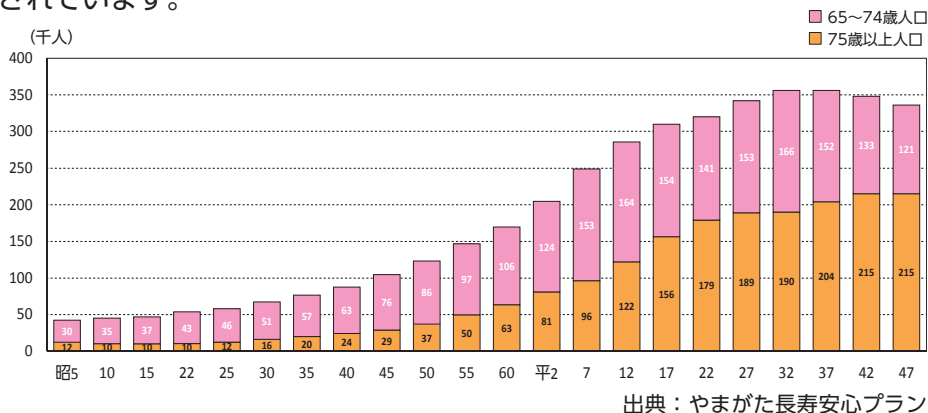
みなさまが、地域で安心して治療を受けられるよう、医療機関同士が協力する仕組みです。

山形県置賜保健所

高齢化が急速に進んでいます

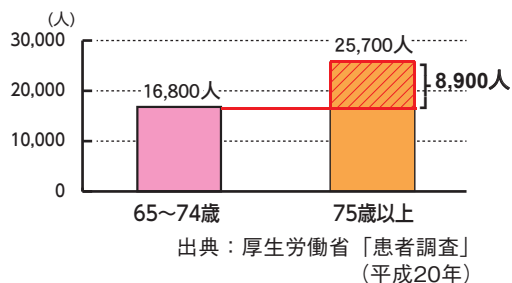
(1) 高齢者人口(県)

本県の高齢者人口は、全ての団塊の世代が75歳以上となる平成37年頃まで増加が続き、その後減少するものの、75歳以上人口は増加し続けると推計されています。



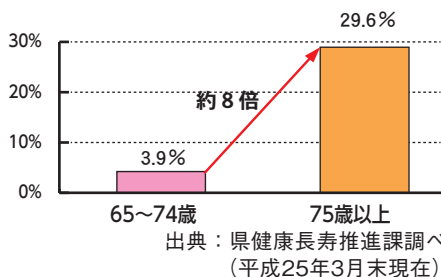
(2) 1日当たり受診状況(入院・外来)(全国)

75歳以上の1日当たりの受診者数は、25,700人で、65歳~74歳より8,900人多くなっています。



(3) 要介護認定者の割合(県)

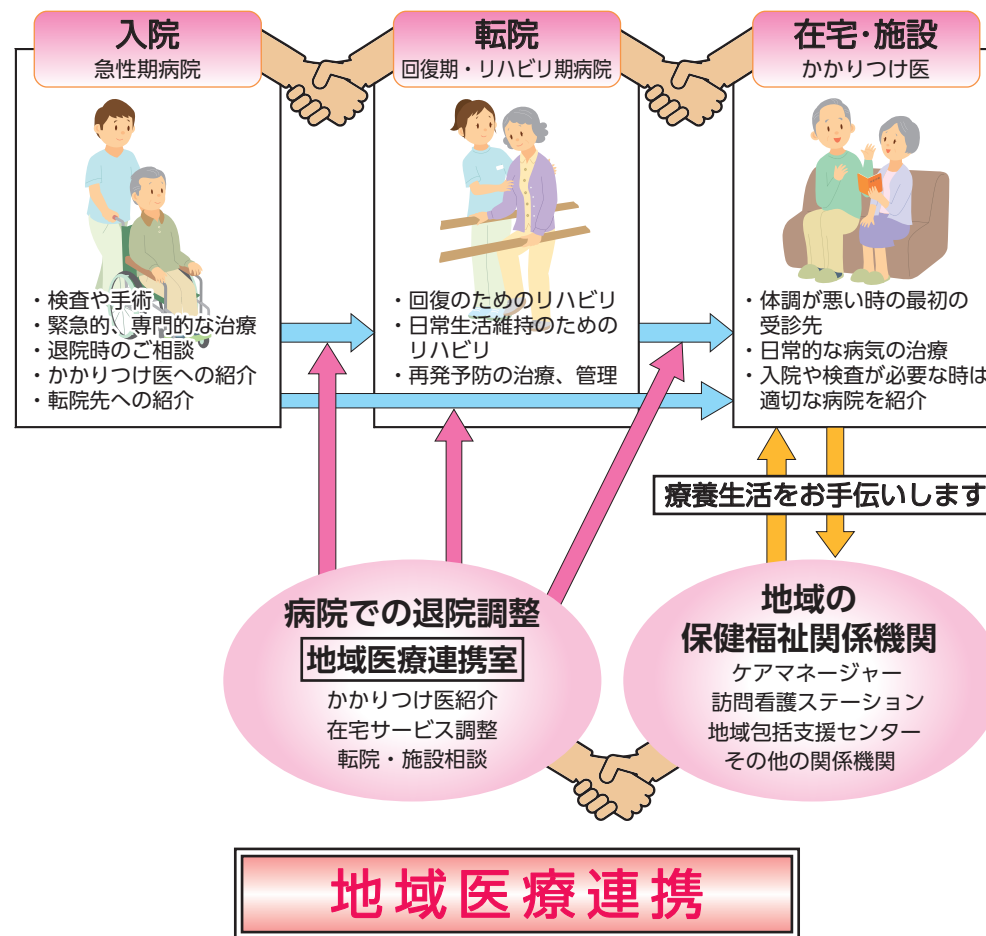
75歳以上の要介護認定者の割合は29.6%で、65歳~74歳認定者の約8倍となっています。



● 今後は、医療と介護の両方から高齢者の生活を支えていく必要があります。

このような現状をふまえ、医療機関ごとの特徴をいかし、地域の中で協力しながら医療を提供しています。

医療は役割分担が進められています



身近なところで、
専門医療機関と連携した医療が受けられます

- 多くの場合、近くの医療機関で治療が受けられることになるため、患者さんの負担が少なくなります。
- 患者さん中心の医療が受けられます。